

第 63 回神奈川建築コンクール 住宅部門審査総評

審査委員 内田 青蔵

今年度の住宅部門の応募作品は、36 件と前年度の 51 件と比べるとおよそ 3 割減という残念な結果であった。次年度は、より積極的な応募を期待したい。

さて、入賞作品は、書類をもとにした第一次選考、現地による二次選考を経て選出されている。両選考ともに、各審査委員の投票結果をもとにした合議により決定された。特に、二次選考では、各委員から評価点に関する意見交換を行い、デザインという観点から独自のデザイン性とともに新たな試みや新たな住まい方の提案、また、現地審査から見えてきた周辺環境との繋がり方なども極めて重要な評価点であることを再確認した。こうした意見交換を踏まえ、最終決定を行った。

以下、入賞作品を簡単に紹介したい。

最優秀賞の「ミキハウス」は、丘陵地に雛壇造成された住宅地を敷地とし、周辺環境と見事に一体となった豊かな生活の場を実現した住宅である。高低差のある敷地の特性を生かし、敷地奥に向かってゆるやかな段状の床を連続させ、開口部の採り方も外部の庭との繋がりを重視することで、内外の連続した関係性が見事に得られている。個人的には、道路側の駐車場はもう少し開く工夫があってもよかったのではと感じたが、それでも内部は居心地がよく、2 階の敷地奥に設けた食堂やそこから続く屋上テラスは印象深い空間だった。

次に優秀賞の紹介である。「逗子の家」は、南に迫る裏山の斜面が存在する小高い造成地を敷地とし、裏山の豊かな自然を積極的に生活の場に取り入れた住宅である。特に、1 階の玄関周囲に設けられた縁側空間は行き来する際に外部の自然を常に感じることができる空間で、施主の住まい観と連動した興味深い提案といえる。

「茅ヶ崎の家」は、低層の高密度の住宅地に残る旗竿敷地に設けられた住宅で、中庭を設けつつ、建物周辺にも庭を設け、視線の抜けなどの開放感を意識した計画がみられる。中庭型の住宅は得てして閉鎖的な住まいとなるが、開放的な空間を目指す試みは興味深く、今後は周辺家屋からの視線に対する工夫をもっと進めてほしい。

「由比ガ浜の家」は、住宅が密集する住宅地を敷地とし、劣悪な住環境の中で独自のプライバシーと開放性を確保するための工夫を施した住宅である。すなわち、1 階に寝室、2 階にリビングを配置し、2 階の大きな開口部の外側に周辺からの視界を制御するための装置としてもう一枚の壁<外皮>を設け、プライバシーを確保している。デザイン的にも自由度のある外皮の提案は、今後の可能性を感じさせるものである。

「屋根の空地」は、住宅が密集する住宅地を敷地とし、家型のヴォリュームの 1 階と 2 階の間に 1 階の屋根上部分に相当する空間を「空地」として建築空間に取り込んだ住宅であ

る。若い建築家の自邸として造形的にも興味深く、その理論化を期待したい。

「千客万来之家 大磯」は、大磯の緑豊かな住宅地を敷地とし、太陽の動きや微風の揺らぎという自然の恵みを感じられることをめざした住宅である。建築材料も国産材を用いたツーバイフォー工法による住宅で、建物全体をワンルーム化し、開口部も通風を意識するなど質の高い計画性が見て取れる。

「h25a」は、豊かな自然が残る小高い旗竿敷地で、周辺の緑や景観を取り込むために、全体を開放的なつくりとし、建物周囲には低めの手摺による大きな軒下の半屋外空間を備えた住宅である。垢抜けしたモダンな外観も特徴のひとつである。

「辻堂の家」は、戦後直後の住まいを解体し、その跡地に造られた住宅である。平屋と塔状の2階建てのヴォリュームを組み合わせた印象深い外観で、家族の記憶を継承するための工夫が内部のインテリアとしてデザインされている。こうした試みは魅力的で、今後は、外部にもデザインとして展開させることを期待したい。

「日本圧着端子製造横浜寮 RUBAN CLAIR」は、町工場や倉庫、集合住宅などの多様な建築が近接する準工業地域に建つ会社の独身寮兼研修所などの機能を備えた建築である。敷地に対してゆったりした配置計画がとられるなど、贅沢な独身寮といえる。建物の性格上難しいと思われるが、周辺環境へ開こうとする積極的表現があれば、より魅力的だったように思われる。今後は期待したい。

また、「Chez Fleurs TERAYA」は、建築工法にCLTを積極的に採用した事例として興味深く、その試みは工法的にも、また、わが国の山林保全活動とも連動することからアピール賞（環境）とした。また、「パークシティ武蔵小杉ザガーデン（タワーズイースト・タワーズウエスト）」は、共同住宅計画を基本としつつ、駅前地区の整備とともに、街全体の防災拠点としての役割を担うために様々な防災施設計画が展開されている。こうした計画は今後ますます重要性を増すものであり、その具体的事例としてアピール賞（防災）とした。